

事業番号	02 03 03	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域間幹線バス路線確保維持費補助事業			担当課	部局	企画部
<参考> 総合5か年 計画	プロジェクト	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり		課・室	交通政策課	
	施策の総合的展開	1 公共交通網の確保		E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	S47 ~	

1 事業の概要

目指す姿	広域的、幹線的なバス路線を運行する乗合バス事業者に対し運行欠損費及び車両減価償却費等を補助することにより、乗合バス事業者の路線バスの運行を支援し、地域間幹線バス路線の維持存続と利便性の向上を目指す。 成果目標：公共交通機関利用者数103,077千人(H22) → 103,077千人(H29)	
現状	○地域間幹線バス路線の運行欠損費及び車両減価償却費に対し、国と協調して県が補助することにより、5事業者が運行する31系統を維持している。 ○乗合バス事業者は経営状況の悪化から、車両の更新が進まず、乗合バスの低床バス導入率は27.8%となっている。	
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可【左記の説明、根拠法令等】 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他() 国と協調し、県が主体的に取り組む必要がある。 地域間幹線バス路線確保維持費補助金交付要綱	

事業内容	① 成果目標(H24)						
	○地域間幹線バス路線の年間利用者数 2,669千人 (設定理由：現在ある地域間幹線バス路線の確保維持を目指して、現状と同数の利用者数2,669千人と設定) ○地域間幹線バス路線の系統数 31系統 (設定理由：現在ある地域間幹線バス路線の確保維持を目指して設定) ○乗合バスの低床バス導入率 33.2% (設定理由：乗合バスへの全車両低床化(平成32年度目途)に向け、低床バス車両の導入率の向上を目指し、33.2%と設定)						
	② 事業内容 (単位：千円)						
	項目	実施方法	H24事業実績		H24 (当初)	H24 (決算)	H25 (当初)
	1 地域間幹線系統確保維持費補助金	補助金	・乗合バス事業者の地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助(5事業者、33系統) 【補助率：国1/2、県1/2】		102,230	107,508	122,606
	2 車両減価償却費等補助金	補助金	・乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費に対する補助(4事業者、継続4台、新規導入4台) 【補助率：国1/2、県1/2】		7,213	7,213	15,027
			合計		109,443	114,721	137,633

事業コスト	区分(単位：千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	99,926	99,282	109,443	137,633
	補正予算	0	0	5,278	
	合計(A)	99,926	99,282	114,721	137,633
	国庫支出金	0	0	0	0
	県債	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0
	一般財源	99,926	99,282	114,721	137,633
	決算額(B)	88,860	99,282	114,721	
概算人件費	職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20
概算人件費(C)	1,652	1,652	1,652	1,652	
概算事業費(B(A)+C)	90,512	100,934	116,373	1,652	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		目標	成果	達成状況	
地域間幹線バス路線の輸送人員	2,669千人	2,669千人	2,822千人	達成	2,822千人
地域間幹線バス路線の維持	31系統	31系統	33系統	達成	31系統
乗合バスの低床バス導入率	27.8%	33.2%	30.2%	未達成	39.5%

目標に対する成果の状況	○地域間幹線バス路線の輸送人員については、2,822千人に輸送人員が増加したことから、成果目標を達成した。 ○地域間幹線バス路線の維持については、補助対象路線が増加し33系統を維持することができたことから、成果目標を達成した。 ○乗合バスの低床バス導入率については、乗合バス事業者に対し車両減価償却費等の補助を行うなど導入率の向上に努めたが、成果目標を達成できなかった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・乗合バス事業者に対し経営改善や利便性の向上を求めるとともに、地域における利用促進への取り組みを促進し、地域交通ネットワークにおいて重要な役割を担う、広域的・幹線的な路線を確保する。 ・乗合バス事業者と連携し、低床バスの導入を促進することにより、低床バス導入率を向上させる。
---------------------	---